

家畜衛生だより

From 中央家保 養鶏用

中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656
Tel: 043-250-4141 (夜間・休日対応)
Fax: 043-286-0090
(公社)千葉県畜産協会
〒260-0021 千葉市中央区新宿1-2-3

暑熱対策は万全ですか！？

5月に入って、25℃以上の気温を観測する日が多くなっています。暑熱は食欲低下、繁殖障害の原因となり生産性を低下させます。暑熱対策を適切に実施し、今年も暑い夏を乗り切りましょう！

家畜種	暑さで生産に影響を及ぼす温度
鶏	30～33℃

○飼育環境を改善して体感温度を下げましょう！

- ・密飼いを避け、イライラと体感温度の低減
- ・畜体への散水、散霧（ミスト）
- ・換気扇による送風、換気
(風速1m/秒で体感温度は1度下がる)
- ・遮光ネットやよしず、植物による日よけ（特に西日）
- ・屋根裏への断熱材の設置、屋根への石灰塗布、スプリンクラー



○飼料と水の給与に気をつかいましょう！

- ・良質で消化率の高い飼料を給与
- ・冷たい水を、いつでも十分飲めるようにする
- ・給水器の点検も！
- ・涼しい時間帯に飼料給与し、同時に給与回数を増やす
- ・必要に応じビタミンやミネラルを給与し、栄養不足を補う



☆作業者の熱中症にも注意しましょう！

- ・こまめに休憩をとったり、水分・塩分を補給するなど、作業員自身の熱中症も予防しましょう！



暑熱対策の具体的な事例が(公社)中央畜産会のホームページで紹介されています。ご参照ください。 ➡ <http://jlia.lin.gr.jp/seisan/>

6月1日は一斉消毒の日です

☆飼養衛生管理を見直す機会にして、農場を守りましょう！

お問い合わせは 千葉県中央家畜保健衛生所まで

TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送)

FAX. 043-286-0090